

御所市地域公共交通総合連携計画 当初案

事業1

⇒資料1 P53参照

・隣接市街地とのアクセス改善や公共交通空白地域の縮小に向けたコミュニティバスの運行

コミュニティバスの有料化を実施以降、利用者が減少しています。このような状況を踏まえ、近隣市街地とのアクセス改善や市内に点在する公共交通空白地域の縮小も視野に入れた御所市街地へのアクセス改善等、地域住民にとって、より利便性の高いネットワークを構築します。

○市内での移動をはじめ近隣市の市街地とのアクセス改善も視野に入れ、利用状況や地域住民のニーズ等を調査等により把握し、市が主体となり地域住民にとって、**より利便性が高く効率的な路線及び運行形態に再編するための見直しの検討・実施を進めます。**



御所市コミュニティバス「ひまわり号」

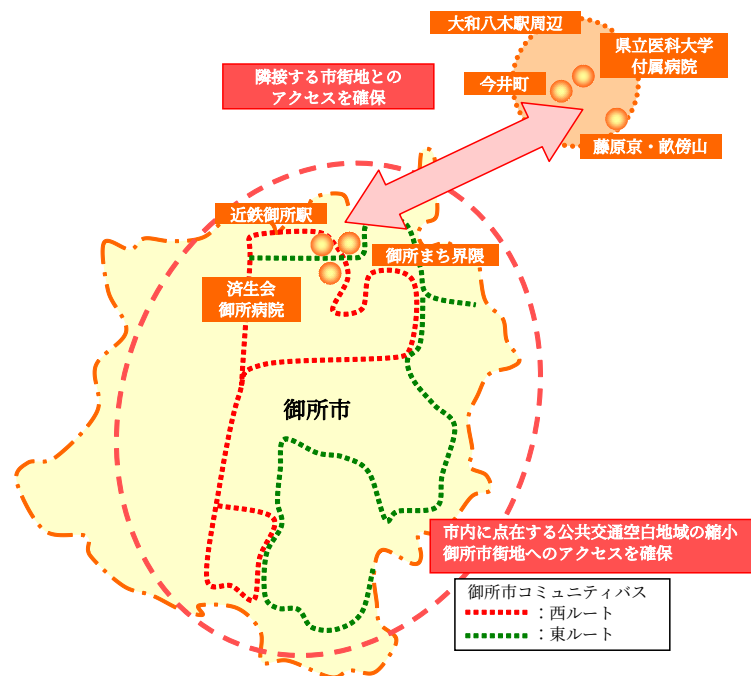
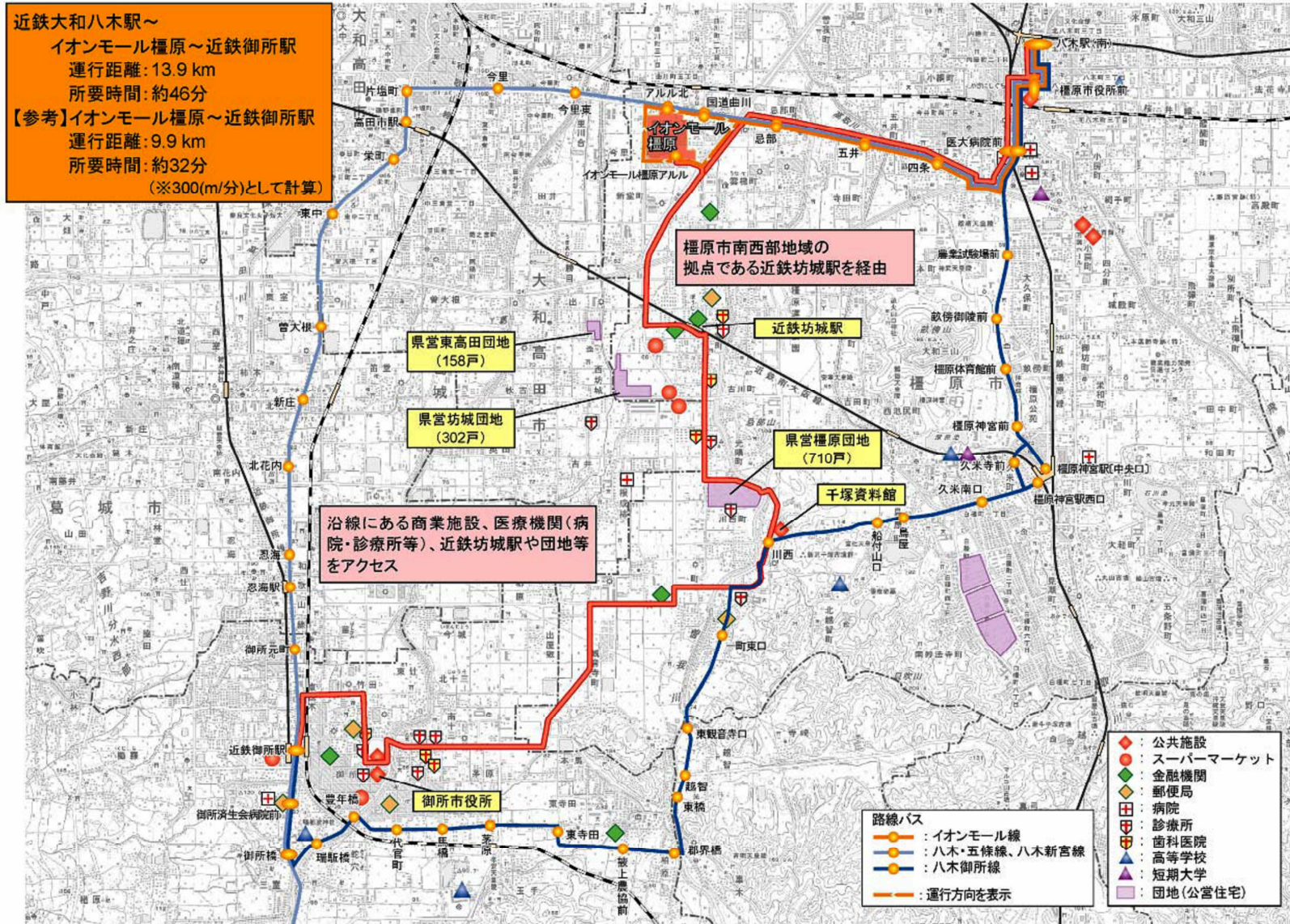


図. 隣接市街地とのアクセス改善と公共交通空白地域の縮小に向けたネットワークの構築のイメージ

橿原市ワーキング会議資料

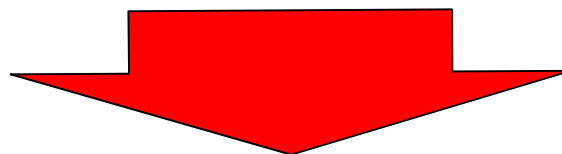


橿原市生活交通ネットワーク計画 運行ルート案



広域バス運行の考え方

- 住民の交通ニーズへの対応
- 駅利用者の増加による交通結節点の機能強化と駅周辺のにぎわいの促進
- 隣接市街地とのアクセス改善
- バス交通による利便性の向上



- 地域公共交通の充実
- 住民ニーズの充足
- まちづくりの推進